

科学技術と外交について

平成21年10月14日



厚生労働省

厚生労働科学研究について

糖尿病患者...約**247**万人
HIV感染者...**9,643**人
がん患者...約**142**万人
がんによる死亡...約**34**万人
(死亡者の総数の**30**%)
B型肝炎ウイルスキャリア...約**100~130**万人
C型肝炎ウイルスキャリア...約**150~190**万人

自殺死亡者数...**3**万人以上
要介護認定者...約**411**万人
高血圧患者...約**781**万人
身体障害児・者...**366**万人
知的障害児・者...**55**万人
精神障害者...**303**万人

労働災害による死亡者数...**1,357**人
輸入食品の割合...**61**%(カロリーベース)
合計特殊出生率...**1.34**



疾病や障害等の克服
健康や安全に関する懸念の解消
国民の多様なニーズへのきめ細かな対応

厚生労働
科学研究
による貢献

科学的根拠

安全・安心で
質の高い健康
生活の実現

(例)

- ・ 疾病の診療ガイドラインの策定
- ・ 革新的な医薬品・医療機器等の開発
- ・ 成果の法律や規制等への反映



データは「国民衛生の動向」(2008年版)・障害者白書(平成21年度版)より
(必ずしも最新のものではない場合がある)

科学技術研究の推進に係る基本的考え方

安全・安心で質の高い
健康生活を実現

健康安心の 推進

- 母性及び乳幼児の健康保持増進に係る研究
- 生活習慣病に関する研究
- こころの健康の推進に関する研究
- がん予防・診断・治療法の研究
- 介護予防の推進に関する研究
- 免疫・アレルギー疾患の克服に向けた研究
- 障害・難病などのQOL向上のための研究 等

先端医療の 実現

- 先端医療実現のための基盤技術の研究
- 治験・臨床研究の基盤整備の推進
- 健康研究の推進 等

健康安全の 確保

- 新興・再興感染症等の研究
- 健康危機管理対策の研究
- 労働安全衛生の研究
- 医療等の安全の研究
- 医薬品・医療機器等のレギュラトリーサイエンスの研究
- 食品の安全の研究 等

第3期科学技術基本計画等に基づいて推進

厚生労働科学研究における国際連携の 推進

科学技術外交の推進

- 平成21年度より、地球規模保健課題推進研究事業の一部として、日中韓大臣声明に基づく医薬品の民族差に関する国際共同臨床研究等を実施
- 感染症対策総合研究事業(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究)において、国際的な感染症ネットワークを活用した対策に関する研究等を実施

国立試験研究機関を通じた取組

- 国立感染症研究所がWHOコラボレーションセンター、WHOリファレンスラボラトリーとして、病原体の分離同定、疫学的調査診断、標準品の作製供給、診断用抗原の改良、菌・ウイルス株の分与・保存、技術者の教育、感染症コントロール及び情報の交換等の活動を行うとともに、日中韓、ASEAN諸国等、アジア諸国との研究所ネットワークを構築し、国際的な連携・協力活動を実施

今後とも、厚生労働科学研究分野における国際連携を推進

地球規模保健課題推進研究事業(平成21年度～)

<研究推進の基盤>

<研究のアプローチ>

<期待される効果>

我が国においてこれまで蓄積してきた保健課題に関する知見・経験

我が国の先端的な科学技術の活用

我が国の国際保健分野の人材の活用

地球規模で取り組むべき保健課題に関する研究の推進

- ①技術移転に関する研究
- ②気候変動に伴う健康影響に関する研究
- ③日中韓大臣声明に基づく医薬品の民族差に関する国際共同臨床研究
- ④若手育成型研究
- ⑤地球規模保健課題対応力養成研究

I 途上国における保健医療水準の向上

II 我が国が国際的に貢献できる国内基盤の整備

III 国際社会におけるリーダーシップの発揮と国益の確保

科学技術外交 ～我が国の先端的な科学技術を活用した科学技術協力の強化～

新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

1. 一般公募型

1. 新型インフルエンザへの対応に関する研究

人類のほとんどの者が免疫を持たない新型インフルエンザは、2009年4月28日WHOのフェーズ4宣言を受け、現在、全世界で対策が進められている。日本においては、5月16日に初の国内発生を認めており、8月21日にはインフルエンザ流行シーズン入りを宣言したところ。これからも流行状況に応じ、根拠に基づいた適切な対応が求められている。また、今後想定される更なる流行の対応に向けての準備や、高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)から新型インフルエンザが発生する蓋然性が未だ低下していないことから、これらに対する研究はますますその重要性を増している。

- 新型インフルエンザのリスク評価及び大流行に関する事前準備と緊急対応に関する研究
- 新型インフルエンザH1N1の病態把握、重症化の要因に関する研究
- 様々な政策(検疫、サーベイランスなど)の有効性の評価に係る研究(各国が講じた施策との比較など) 等

2. 感染症の新たな脅威への対応及び感染症対策の再構築に関する研究

- 1類感染症・バイオテロに迅速に対応するための迅速診断法等の研究
- 2012年までに排除を目指す麻疹(はしか)や、低まん延国をめざす結核等に関する感染症対策の点検及び再構築を行うための研究 等

3. 国際的な感染症ネットワークを活用した対策に関する研究

- アジア諸国を中心に見られる多剤耐性結核菌やデング熱等の感染症対策に資する研究
- アジアの研究機関との連携におけるラボラトリーネットワークの強化に関する研究 等

2. 指定研究

1. 感染症対策にかかる基盤整備

- 迅速な対応の基盤となる感染症の発生動向に関する新たなサーベランスの研究
- 予防接種後健康被害審査の効率化に関する研究
- 新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究 等

2. 細胞培養系を用いた新型インフルエンザワクチンの開発研究

- 全国民分のインフルエンザワクチンを短期間で安定して製造できる体制の構築を目指した組織培養ワクチンの開発に関する研究

外交への期待と将来の方向性

- 諸外国の情報やニーズを、我が国の国益に資する
科学技術施策推進のため国内に情報提供
- 日本の科学技術の成果の積極的な発信
- 海外拠点の構築と活用(研究協力拠点等)
- 途上国からの要請への対応(保健の改善)
- 国際的合意事項の達成(MDGs、TICAD、G8)
- その他
(情報ネットワークへの参入、標準化、トランスレーショナル・リサーチ)



研究→開発へ(国際的視点からのグローバル戦略)



“真の科学技術創造立国”

科学技術を通じた地球規模課題への貢献と我が国の国際的地位の維持向上